創立145年 鳳祭

「好きこそ無敵」

創立145年鳳祭が11月1日から3日まで、生田キャンパスで開催された。カフェやライブ、作品展示や研究発表、模擬店などに大勢の学生や地域の方々、校友らが足を運んだ。

「好きこそ無敵」がテーマの今年の鳳祭では、「グランプリ」「鳳コレクション」の二つの新企画が登場。参加型のイベントで大いに盛り上がった。各団体による屋台グランプリも初の試み。来場者の投票により、WATER FALLSのフライドポテトが初代王者の栄誉を獲得した。

テーマソング発表

鳳祭のテーマソングが完成、開会式と閉会式で披露された。

作詞・作曲、アレンジは塩見拓さん（国コミュ3）、歌は芝澤伶瑛さん（文3）＝写真左。公募によって選ばれた。

タイトルは「君がいるから」。生田キャンパスと神田キャンパスの距離を「23駅遠いね」と呟きながら「僕ら遠く離れてても　辿り着くよ同じ場所へ」と爽やかに歌う。

塩見さんは「大学生の今だからできるパワーを表現した。仲間がいるから頑張れるという思いを込めた」と話す。ライブで歌を披露した芝澤さんは「大きな会場で大勢の人の前で歌うのは最高の気持ち。歌詞に込められた思いを伝えられるように歌った。皆さんの反応を見て、伝わったのではないかと思う」と笑顔で語った。

「君がいるから」は鳳祭実行委員会公式YouTubeで公開中。

ネットワーク情報学部「防災DXデイ」

デジタル技術を活用した防災とは
住民と学生が情報共有

防災時の食事について講演する高知県立大の島田准教授

防災についてネットワーク情報学部で取り組んできた成果などを発表する「防災DXデイ」が10月12日、生田キャンパスで開催された。学生のほか、地元の避難所運営に関わる住民ら87人が参加。地域の避難地図のデジタル化や防災食などについて、地域住民と学生で情報を共有し、意見を交わした。

ネット情報学部では本年度、新たな教育研究プログラム「ラボ」をスタート。防災を柱の一つとして活動している。今回の防災DXデイでは、ラボでの取り組みを中心に、学生や地域団体のさまざまな活動が報告された。

このうち佐藤慶一教授担当の「まちづくりDXラボ」は「逃げ地図デジタル化」について公表した。逃げ地図は、避難所までのルートを時間ごとに色分けして避難完了までにかかる時間を可視化する地図。ラボでは川崎市全域の逃げ地図をデジタルで作成、多摩区での計算結果を示した。参加者有志で、ハザードマップと逃げ地図を重ね合わせ、地域で連携した活動アイデアを話し合う機会も設けられた。また、同ラボ災害食研究チームは、自分たちで考案した災害時のメニューや栄養価の計算結果を紹介した。

逃げ地図を活用したアイデアを話し合う参加者たち

無人コンビニラボを担当する石井健太郎教授はNFC（近距離無線通信）カードを用いた参加者情報管理システムについて、当日参加者を対象に実証実験を行った。このほか、SIV（専修生田ボランティア）が地域での朝清掃や災害ボランティアの活動を紹介した。

イベントの前半は、高知県立大学の島田郁子准教授が災害時の食事について講演。「避難生活を少しでも元気に過ごすために、水分▽食事をしっかりとる▽衛生的に食べる▽体を動かすことが大事。備蓄食料には食べなれたもの、好きなものを取り入れて、災害発生前こそ備えをしっかり」と語った。

佐藤教授らは本年度、川崎市多摩区の大学・地域連携事業で「デジタル技術を活用した防災まちづくり手法の開発」をテーマに活動している。

いしのまき祭りを開催

今年も盛況だったいしのまき祭り

専大生と石巻専大生が企画した「いしのまき祭り」が10月27日、神田キャンパスで行われた。学生や地域の方をはじめとした400人を超える来場者が、東京・神田神保町で宮城県石巻市の魅力を体感した。

会場には、石巻川開き祭りを彩る七夕飾りを展示。ワークショップや企画展が行われ、専大生が調理する石巻焼きそばとカキのホイルバター蒸しの無料配布（各先着200人）には行列ができた。

企画・運営に携わった専大生は、「石巻交流セミナー」に参加した1年次生24人。事前研修で石巻について学んだ後、8月に現地を訪問し、震災遺構や観光スポットの見学、名物・石巻焼きそばの調理研修、わかめの収穫を体験した。いしのまき祭りでは、セミナーでの学びを生かし、グループ活動報告▽わかめ100gぴったりチャレンジ▽石巻災害復興関連紹介動画・掲示・展示▽石巻の魅力スポット紹介展示▽ミニ七夕飾りストラップ作りワークショップ▽想い出の1枚写真コンテストなどを実施した。

石巻焼きそばを調理する学生

北田涼々香さん（文1）は「セミナーで初めて石巻を訪れ、魅力あふれるきれいな地域だということが分かった。学んだことをいろいろな人に知ってもらいたいと思っていたので、多くの人に来場してもらえて良かった」と話し、「楽しく、前向きに活動し、積極性を身につけるなど自身の成長につなげることができた」と振り返った。

（6面に関連記事）

神田10号館学生ラウンジ
命名「107（てんなな）食堂」

命名者の宮城さん（左）に星野店長から賞品が手渡された

神田キャンパス10号館7階にある学生ラウンジ（学生食堂）の名称が「107（てんなな）食堂」に決定した。

愛着を持ってもらいたいと学生から名称を募集。182件の応募があり、宮城一馬さん（法3）のネーミングが採用された。

宮城さんは「語感が大事だなと考えている時に、インスピレーションがわいた。名前が浸透し、長く残ってくれたらうれしい」と話した。

10月3日に表彰式が行われ、星野義行店長から賞品の学食無料券が手渡された。表彰式に参加した佐竹弘靖学生部長も「口に出したくなる良い名前」と宮城さんのセンスに賛辞を贈った。後期から早速、「107食堂のカレーライス」など、名称が使用されたメニューが登場している。

第39回グリーンカップ・ゴルフ大会

第39回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会が、10月4日に千葉県平川カントリークラブで開催された＝写真。

開始直後まで降っていた雨がやみ、虹のかかる爽やかな秋空の下、参加者は腕を競い合った。今回はフィギュアスケート選手の渡部絵美さんやプロゴルファーの北島順子さん（平4経済）、校友会親善大使の山中慎介さん（平17商）らも参加。華やかな顔ぶれが集まり、表彰式後の懇親会も大いに盛り上がった。また、会場で集まった募金5万6000円は専修大学に全額寄付された。

プレー結果は次の通り。▽優勝＝鏑木正好氏（昭46法）▽シニア優勝・ベストグロス賞＝角倉貞夫氏

第50回衆議院議員選挙当選者（10月27日投開票）

▽浜田靖一氏（はまだ・やすかず＝昭55経営）千葉12区、自民、11選
▽小熊慎司氏（おぐま・しんじ＝平4法）福島3区、立民、5選
▽奥下剛光氏（おくした・たけみつ＝平10商）大阪7区、維新、2選

選挙結果

▽神奈川県箱根町長選挙（10月27日投開票）
勝俣浩行氏（かつまた・ひろゆき＝昭53商）再選

校友新社長 紹介

鷲見洋一氏（平3経済）
三井物産シーフーズ㈱代表取締役社長に10月1日付で就任。本社＝東京都。水産物の輸出入、三国間貿易及び国内販売。

校友会情報

〈神奈川県連合会総会〉
▽12月26日（木）18時30分～▽ロイヤルホールヨコハマ（横浜市）
※支部総会に関するお問い合わせ【校友会事務局】☎03・3262・7579